

## 平成 27 年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

生徒が自信をもって社会に巣立つよう、「文武両道」の理念のもと、本校の校訓である「堅忍不拔」「好学叡知」「和衷協同」の実践を通して、高いコミュニケーション力に裏打ちされた豊かな「人間力」を持ち、リーダーシップを発揮して社会貢献できる生徒を育成する学校、地域に根付いた地域に愛される学校をめざす。

- ①第一志望の進路実現
- ②より良い豊かな人間関係づくりができる学校文化の創出
- ③生徒の力をしっかり伸ばす学校力の向上

## 2 中期的目標

- 1 第一志望の進路実現
  - (1) 生徒の第一志望の進路実現へ向けたカリキュラム編成を行う。
    - ・生徒のニーズにあった選択科目を新設し、生徒の進路希望に対応した教育課程に改善することで、生徒の意欲や能力をさらに伸ばす。
    - ・高い目標として関関同立の合格者数を 80 名以上に伸ばす。(平成 27 年度 60 名 平成 28 年度 70 名 平成 29 年度 80 名)
  - (2) アクティブ専門コースの設置と充実。
    - ・生徒の得意分野や興味・関心の深いエリアをさらに支援し伸ばすことによって、自信や意欲を支える自尊感情や自己肯定感を高め、自己実現をめざす志を育み、学習面とは違った側面から学力の向上を図る。
    - ・何事にも積極的に取り組む姿勢を育むとともに、リーダーシップ力、忍耐力、集中力、協調性、社会性、奉仕の精神など、社会で必要とされる「生きる力」を育む。
  - (3) 学力向上の方策、三年間を見据えたキャリア教育計画等の充実により、100%の第一志望の進路の実現をめざす。(平成 27 年度 75% 平成 28 年度 80% 平成 29 年度 85%)
    - ・最後まであきらめず頑張りぬく生徒を育てる。(大学入試センター試験 受験率を 3 年間で 50%以上にする。)
    - ・将来について自ら考え、夢の実現に向けて自ら行動する生徒を育てる。
    - ・学力の客観的評価、学力生活実態調査等を継続的に使用し、その結果を分析し、進路指導等に生かす。
    - ・進学講習、授業の補習等を組織的、計画的に実施する。
    - ・漢検・英検等資格試験の受験者を増加させ、より難度の高い資格に挑戦させる。
  - (4) 生徒を鍛えるための授業力向上。
    - ・オン・ザ・ジョブ・トレーニング(OJT)が盛んに行われるような職場環境づくりを行う。また、ICT の活用など、様々な授業の工夫や互いの授業見学、公開授業などにより、生徒が『わかる授業』、『力をつける授業』を実践する。
    - ・授業アンケートを実施、分析し、組織的に授業力向上をめざす。(学校教育自己診断 授業満足度 H29 年度 80%以上をめざす。H24 年度 69.1%)
  - (5) 自学自習の習慣の確立と学習と学校行事や部活動の両立。
    - ・生徒の学習に対する初期指導として、入学当初に学習オリエンテーションを実施する。
    - ・家庭学習など、自学自習の定着のための方策を講じる。学習と学校行事や部活動との両立を図る。
    - ・家庭学習等の時間の増加をめざす。
    - ・自習室の利用について(学校教育自己診断 H29 年度 30%以上をめざす。H24 年度 13.9%)
- 2 より良い豊かな人間関係づくりができる学校文化の創出
  - (1) HR 活動、学校行事、生徒会活動、部活動等で生徒の自主性を育成し、自分を鍛え、人とのつながりの大切さを学ぶ。
    - ・体育祭、文化祭、修学旅行、芸術鑑賞等の学校行事の継承と発展。
  - (2) 生徒の自主性、主体性を重視した生徒会、CM会議(部活動のキャプテン、マネージャー会議)、保健委員会、図書委員会等の活動の発展。
    - ・生徒会等を中心とした学校行事、地域連携、ボランティア活動の充実、あいさつ運動の向上を図る。
    - ・ボランティア活動について(学校教育自己診断 H29 年度 75%以上をめざす。H24 年度 61.3%)
  - (3) 規律ある学校生活を行うため、基本的な生活習慣の定着や自転車や挨拶等マナーの向上。
    - ・清掃の徹底をめざす。(学校教育自己診断 H29 年度 80%以上をめざす。H24 年度 63.1%)
  - (4) 生徒のコミュニケーション力向上を図ることにより、より良い豊かな人間関係づくりができる学校文化を創出する。
    - ・ピア・メディエーション(仲間同士による紛争解決の手法。以下「PMJ」)クラブを中心にPM教育を牽引する。
    - ・生徒や教職員のコミュニケーションやPM研修等を実施し、生徒及び教職員のコミュニケーション力の向上を図るとともに教員のコミュニケーション指導力を充実する。
  - (5) 海外からの生徒の受入れ等、グローバル人材の育成に向けた取組みの実施。
  - (6) 保護者との連携をしながら、安全で安心な学校づくりを推進。(人権教育、就学支援、教育相談等)
    - ・家庭とのきめ細かい意思疎通と相談について。(学校教育自己診断 H29 年度 80%以上をめざす。H24 年度 74.8%)
  - (7) 開かれた学校づくりにより保護者や地域との連携を密にし、さらなる生徒の育成を図る。
    - ・地域イベント等において生徒の出番を多く設定することにより、地域コミュニティの中での「育ち」を支援する。
    - ・地元中学校運動部交流大会「香里カップ」や地域文化交流イベント「香里フェス」を開催する。
- 3 生徒の力をしっかり伸ばす学校力の向上
  - (1) ICT の活用等、仕事の効率化、危機管理対応等の充実をめざし、校内組織の見直しと体制づくり。
  - (2) スクラップ・アンド・ビルド方式を基本に、必要に応じて委員会等の新設及び改廃を行い、円滑な組織運営を行う。
  - (3) 経験の少ない教員等の育成。
  - (4) 校務処理システムの有効活用。
  - (5) 教育環境等の整備、予算の効果的執行。
  - (6) 広報活動の充実。
    - ・「香里PR隊」を結成し、文化広報部とともに中学校や地域住民に対する広報活動を充実させる。
    - ・ホームページ、香里丘メールサービス配信等で情報提供に努める。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 27 年 12 月実施分]	学校協議会からの意見
<p>生徒・保護者・教員とも基礎学力・基本的な生活習慣の育成については高評価。行事・部活動の指導、生徒指導、人権関係指導に関しても評価は高い。「わかりやすい授業の工夫」という観点では改善の余地があり、生徒・保護者から期待されている。また教員からは、学習意欲の高い生徒へのサポートが不十分という意見もある。</p> <p>生徒の授業・学習に対する取組み姿勢では、家庭学習の実施度が低く、勉強への自信がなく将来に不安を感じている生徒が多い。教員は、授業方法について研究する機会に対するポイントは徐々に高くなっており、研究授業や相互授業見学(互見授業)を積極的にしている。また生徒の授業に対する姿勢が良いと感じている教員は昨年よりも増加している。</p> <p>学校生活については、行事や部活動に熱心に取り組む勉強との両立を心掛けている生徒が多く、保護者も同様の意見である。生徒会活動についても年々活発になってきていると回答している。「悩みを相談できる先生がいる」の肯定回答が相変わらず低い。高校生の年代は悩みの相談相手として友人を一番にあげる傾向にあるが、教育相談やスクールカウンセラーの周知など、対応策を練る必要がある。保護者の「授業参観や懇談の機会をよく設けている」の肯定回答が昨年より 10 ポイント低下しており、日程の設定や周知方法に改善の余地がある。</p> <p>学校運営に関する教職員の意見では、「意見を積極的に述べている」「意見が反映されている」の肯定率が特に低い。一方、分掌・学年等各組織の連携や課題共有と協力体制の肯定ポイントは昨年より向上している。運営委員会、プロジェクト委員会をはじめ、議論の活性化と各学年・分掌・委員会内でより一層の連絡体制の強化が必要である。</p>	<p>第 1 回(6/30)</p> <p>○中期的目標の一番にある「第一志望の進路実現」をめざし、カリキュラムの改編に取り組んでほしい。大学入試のあり方が変化しているが、それに振り回されず基本を大切にキャリア教育を一番に頑張ってもらいたい。</p> <p>○活字離れが進んでいるとはいえ、図書館の利用率向上に関しては学校全体で取り組む必要がある。</p> <p>第 2 回(11/16)</p> <p>○授業見学を実施。授業に ICT 導入やペアワーク、グループ学習などを取り入れ工夫されている。プリントも手の込んだもので高く評価したい。</p> <p>○先生が教科を越えて相互授業見学されているのは素晴らしい。プロがプロを見て切磋琢磨することは意義あることだと思うので続けてほしい。</p> <p>○生徒の居眠りが少し気になった。注意することとあわせ、生徒を寝させないような魅力ある授業をめざすべき。</p> <p>○多様な生徒のニーズを見据えてのカリキュラム改定は推奨する。開校科目が増えると教室の確保など大変だと思うがやりきってほしい。</p> <p>○アクティブコース設置の趣旨は理解できる。担当の先生には負担増となるのが懸念。</p> <p>第 3 回(2/2)</p> <p>○わかりやすい授業はどの校種でも課題。アクティブラーニングを取り入れ授業改善を期待する。</p> <p>○大学入試制度が変わる。教科横断型学習、文章表現力の向上を考えないといけない。英検・漢検などの技能検定も視野に入れるべき。</p> <p>○学習意欲の高い生徒へのサポートも重要。</p> <p>○生徒が教師や学校に悩みを相談しやすい体制づくり、はたらきかけを継続されたい。</p>

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
第一志望の進路実現	<p>(1) 生徒の第一志望の進路実現へ向けたカリキュラムの見直し。</p> <p>(2) アクティブ専門コースの設置と充実。</p> <p>(3) 生徒のキャリア意識の向上を図る。</p> <p>(4) 学力向上の方策、生徒を鍛えるための授業力向上。授業を大切に。</p> <p>(5) 自学自習の習慣の確立と学習と学校行事や部活動の両立。</p>	<p>(1) 生徒の第一志望の進路実現へ向けた選択科目の増設と精選したカリキュラム編成を行い、平成 28 年度から実施できるようにする。</p> <p>(2) アクティブ音楽コースの内容充実を図るとともにアクティブスポーツコース等の新設を図る。</p> <p>(3) 3 年間のキャリア教育計画の充実と進路指導体制の充実。キャリア意識の向上を図る。(年 2 回の学力生活実態調査を活用し、担任の面談を通じて早期に進路目標を立てさせる。1・2 年生の夏休みの課題で大学を 2 校見学、所定の報告書に将来の目標等を含めレポート提出、まとめてフィードバックする。中小企業家同友会等によるキャリア講演会の実施。進路の情報提供の充実(進路コーナーの充実。HP へのアップ、提供機会の増加。)</p> <p>(4) 教科主任会議を授業力向上 PT と位置づけ授業力向上を図る。生徒が『わかる授業』『力をつける授業』をめざし、生徒に関関同立を目標とする学力をつける。ア・オ・サ・シ・ョブ・トレーニング(OJT)が盛んに行われるような職場環境づくりを行う。授業で ICT の活用促進。授業研究等</p> <p>イ 教科内 OJT の活性化。教科別研究授業を年間 3 回実施し、教科内にて授業力向上を図る。</p> <p>ウ 公開授業週間を 6 月と 11 月に実施、その時期を中心に、互見授業を行い、感想シートを授業担当者、首席に渡す。それを全体にフィードバックし、授業力向上につなぐ。エ ベル始業の実施。</p> <p>オ 1・2 年生で基礎基本の学力の定着を図る取組みの強化。入学当初に学習リエンション(ex 勉強合宿)の実施と充実。</p> <p>カ 生徒の授業アンケートを行い、分析。授業力向上をめざす。</p> <p>キ 学習到達度の低い生徒に対し、指名補習を行う等学力定着を図る。</p> <p>(5) ア 家庭学習等、自学自習の定着のための方策。</p> <p>イ 自習室の利用を推進する。ウ 図書館の利用を促進する。エ 模擬試験、漢字検定、英語検定等の受験を促進する。</p>	<p>(1) 本校の教育システム項目の自己診断肯定率 85%以上。変更内容を総合的に判断する。</p> <p>(2) アクティブ音楽コースの選択人数を 30 名以上。アクティブスポーツコースの新設状況。</p> <p>(3) 生徒アンケートにより第一志望の進路実現 80%以上。ア 特に進路指導部と第 3 学年の連携強化。進路指導室の充実状況(常駐体制の確立、連携会議の回数等)イ それぞれの取組状況。自己診断で進路に関わる項目の肯定率を平均 10%向上。進路希望未定者、年度内 5%以下(H26 5.8%)。ウ 自己診断で進路情報提供項目肯定 80%以上。</p> <p>(4) 関関同立の合格者数を 60 名以上。ア オ・サ・シ・ョブ・トレーニング(OJT)の実施状況。効果的な ICT 活用授業の増加。自己診断関連項目 5P 向上(H26 66%~85%)。</p> <p>ウ 教科別研究授業を 3 回実施し、授業力向上につなげられているか。教員が互見授業を年間 4 回以上実施。授業の感想を提示。(担当者・首席に渡す)自己診断授業改善項目 90%以上(H26 88%)</p> <p>エ ベル始業の状況。自己診断 85%以上(H26 80%)</p> <p>オ 授業内容に、興味関心を持つことができた。授業を受けて、知識・技能が身についたと感じる。を重視し、授業アンケートでの肯定率 2 回共 80%以上。</p> <p>キ 自己診断 H26 68%→H27 75%以上。</p> <p>(5) ア 家庭学習の充実。自己診断 H26 60%→70%以上</p> <p>イ 自習室の利用、昨年比 5%以上増。ウ 図書館の利用率、昨年比 5%増。エ 模擬試験、漢字検定、英語検定志願者、昨年比 5%以上増。</p>	<p>(1) カリキュラムの改編、コース充実等生徒 82%保護者 91%(◎)</p> <p>(2) 音楽コースの選択人数を 13 名(○)スポーツコースを設置(◎)</p> <p>(3) ア 3 年担任 2 名の常駐、副担の常駐(◎)</p> <p>イ 平均 78%で 1%増(○)</p> <p>ウ 生徒 74%保護者 73%(△)各階の進路コーナー、進路ブログ、フィードバック等の充実(◎)</p> <p>(4) 37 名(昨年度 29 名)(△)</p> <p>ア 若手教員中心に ICT 活用授業時数の増加(○)授業に関する項目(研究機会 6% 日常的話合い 1%増(○))</p> <p>イ 研究授業はほぼ完了(◎)</p> <p>ウ 互見授業(感想シート提出)27 名 94 回 授業改善に活用 78%(◎)</p> <p>エ 81%(○)</p> <p>オ 学習リエンション肯定平均 94%(◎)</p> <p>カ H26 76.5% H27 77.6%(○)</p> <p>キ H26 68% H27 70%(○)</p> <p>(5) ア 家庭学習等時間平日 12 分増休日 18 分増 57%(○)イ 自習室利用微増(○)ウ 来館者数 2913 名 3%減(△)エ 模試 55%増 漢検 14%減 英検 17%増(◎)</p>
より良い豊かな人間関係づくりができる学校文化の創出	<p>(1) 生徒の自主性を育成し、自分を鍛え、人とのつながりの大切さを学ぶ。</p> <p>(2) 生徒会活動の充実。</p> <p>(3) 規律ある学校生活。</p> <p>(4) 生徒のコミュニケーション力向上を図ることにより、より良い豊かな人間関係づくりができる学校文化を創出する。</p> <p>(5) グローバル人材の育成。</p> <p>(6) 安全で安心な学校づくりの推進。</p> <p>(7) 地域連携によりさらなる生徒の育成を図る。</p>	<p>(1) ア 生徒の自主性を尊重。香里を考える HR の充実。イ 体育祭・文化祭の生徒の達成感をさらに向上する。ウ 生徒会活動の充実。中学生対象の授業・部活動体験での発表。新入生歓迎行事の充実。など</p> <p>エ 新入生に対し、部活動入部を強く勧める。クラブ員による出身中学校訪問を組織的に実施する。中学校との合同練習。地域への貢献。</p> <p>(2) 生徒の自主性、主体性を重視した生徒会活動の充実。生徒会等を中心とした学校行事、地域連携、ボランティア活動の充実、挨拶の向上を図る。</p> <p>ア CM 会議、クラブ総会の充実。イ 保健委員会の活動の充実。</p> <p>ウ 図書委員会の活性化。エ 生徒総会の運営。書損じハガキやクリーンキャンペーン(年 2 回)等の取組みの継続実施。</p> <p>(3) 基本的生活習慣の定着、自転車や挨拶等マナーの向上。</p> <p>ア 遅刻者数の減少。イ 挨拶マナーの向上のため、教職員からも挨拶の徹底・声かけの実施。ウ 清掃の徹底。</p> <p>(4) ア NPO 法人や大学等の学識経験者の協力を得て、コミュニケーションや PM に関する生徒や教職員の研修を実施し、理解を深めると共に人間関係づくりの手法として定着を図る。また生徒や教職員のコミュニケーション力(指導力)の向上を図ると共にいじめやトラブルを起こさない、見逃さない生徒を育成する。</p> <p>イ 食堂の多目的化により、生徒の交流場所を提供し、コミュニケーション力向上や人間関係づくりに活用する。</p> <p>(5) ア 海外の生徒等との交流を計画的に行う。</p> <p>イ 海外の生徒との TV 会議の実施。</p> <p>(6) ア 安全で安心な学校づくりを推進するため、保護者との連携に留意する。</p> <p>イ PTA と共催で、人権研修の実施と充実。</p> <p>ウ 障がい等の事情により、学校生活を送るにあたって困難を伴う生徒について、就学支援委員会で生徒支援カード等により収集した情報を共有し、個別の支援計画など、保護者と連携しながら作成、充実した指導をめざす。エ 教育相談体制等をさらに充実。スクールカウンセラーと学年との連携を深める。生徒への声掛けをより充実させる。</p> <p>(7) ア 地域イベント等において生徒の出番を多く設定することにより、地域コミュニティの中での「育ち」を支援する。</p> <p>イ 地元中学校運動部交流大会「香里カップ」や地域文化交流イベント「香里フェス」の開催数を増やす。</p> <p>ウ 地域の学校や団体との連携・交流の充実。</p>	<p>(1) ア 生徒からの学校生活改善等提言内容によって評価する。</p> <p>イ 満足度 90%以上。</p> <p>ウ 生徒会関係行事の充実状況。</p> <p>エ 部活動加入率 1 年生 85%以上。出身中学校訪問 3 部以上。中学校との合同練習 10 部以上。</p> <p>(2) ア CM 会議年間 25 回以上。クラブ総会の年 3 回の継続と内容の充実。</p> <p>イ 保健委員会による、学校保健委員会での活動報告。エキップ活動の協力。</p> <p>ウ 図書委員会、年 5 回以上。</p> <p>エ 生徒会活動の活性化。自己診断肯定率 85%以上。挨拶運動の実施。</p> <p>(3) ア 遅刻者数の 5%減</p> <p>イ 毎日登校時の自転車指導や挨拶運動の実施。日常の教職員からの挨拶を含む声かけの実施。ウ 校内美化についての自己診断の肯定率 80%以上</p> <p>(4) ア コミュニケーションや PM に関する生徒や教職員の研修を各 1 回実施する。生徒や教職員の日頃の傾聴力の向上を検証。</p> <p>PM クラブの発足と PM やコミュニケーションに関する他校との連携の状況。</p> <p>イ 食堂の多目的化の完成。多目的エリアとして食堂の活用を促進する。(活用実績にて測定)</p> <p>(5) ア 海外生徒との交流を 2 回以上実施。</p> <p>イ TV 会議等を年 3 回以上実施。</p> <p>(6) ア PTA 実行委員会等での推進状況。PTA による登校指導を 6 回以上実施。</p> <p>イ 人権を学ぶ機会 自己診断 80%以上。</p> <p>ウ 委員会を年 6 回以上の開催し、全体で情報を共有し生徒の支援をする。</p> <p>エ 自己診断(悩み相談)H26 54%→65%以上</p> <p>(7) ア 地域イベントへの参加状況。</p> <p>イ 「香里カップ」「香里フェス」を合せて 5 部以上の実施。</p> <p>ウ 連携・交流の状況。</p>	<p>(1) ア 女子の制服スポーツ着用。食堂メニュー改善。校内設備拡充アンケート実施(ウォータークーラー設置等)(◎)イ 満足度 91%(◎)</p> <p>ウ 中学生向けのビデオ制作、週各 2 回ずつ早朝挨拶・清掃実施 他校と生徒会交流(◎)</p> <p>エ 加入率 1 年 81% 出身中学校訪問は 2 部 合同練習は 6 部実施(△)</p> <p>(2) ア CM 会議 29 回 クラブ総会 3 回 内容充実(◎)</p> <p>イ 学校保健委員会での発表 エキップ運動で地域行事に参加(◎)ウ 図書委員会 5 回実施(○)エ 生徒会活動肯定率 84%、挨拶運動実施(◎)</p> <p>(3) ア 遅刻者(4~12 月)昨年 608→今年 511(◎)イ 毎日の登下校指導、挨拶運動(◎)ウ 校内美化 81%(◎)</p> <p>(4) ア 教職員 1 回実施(○) PM クラブ発足できず(△)</p> <p>イ 机、椅子の改装、衝立、スクリーン、プロジェクター設置(◎)</p> <p>(5) ア 海外生徒交流 1 回 TV 会議未実施。(△)</p> <p>(6) ア PTA 登校指導 6 回(○)イ 生徒 76%保護者 87%(◎)ウ 就学支援委員会 3 回(○)エ 先生 56%友人 83%(○)</p> <p>(7) ア 老人福祉施設敬老会、地域高齢者の集い、自動車教習所、クリスマスコンサート、枚方市クラブチミス、道頓堀イベント等参加(◎)イ 香里カップ実施 3 部、香里フェス 1 部実施。(○)</p>

## 府立香里丘高等学校

生徒の力をしっかり伸ばす学校力の向上	<p>(1) 円滑な組織運営(スクラップ・アンド・ビルド方式)。</p> <p>(2) 危機管理対応等の充実。</p> <p>(3) 経験の少ない教員等の育成。</p> <p>(4) ICTの有効活用。</p> <p>(5) 教育環境の整備等、予算の効果的執行。</p> <p>(6) 広報活動の充実。</p>	<p>(1) 運営委員会(プロジェクト委員会)が中心となり、必要に応じてPTや委員会を新設及び改廃し、教職員の意見を大切にしながら、円滑な組織運営を行う。その際、原則、有志参加者も募るなど教職員の参画意識を向上する。</p> <p>(2) 地震火災対応・AEDの使用について教職員・生徒への周知等の工夫。</p> <p>(3) 新任から2年目までの教員対象に「香里会」で勉強会を実施する。自信を持って授業や生徒指導等に当たることができるよう進める。危機管理を含めた保護者対応。研究授業の実施、授業、部活動等先輩教員の指導に学ぶ。</p> <p>(4) 情報処理委員会を中心に各部と連携して取り組む。校務処理システムの有効活用をめざす。指導要録、成績処理に活用する。ICTを活用して教材等の共有化や成績処理など、日常業務の軽減を図り、教材研究をする時間を確保する。</p> <p>(5) 教育環境の整備等、予算の効果的執行。</p> <p>(6) 文化広報部や「香里PR隊」により中学校や地域住民に対する広報活動を充実させる。中学生学校見学会等の充実。参加者数の確保。HPの更新を計画的に行う。メール配信登録者に年間通じて、情報提供に努める。より計画的な中学校訪問の実施。</p>	<p>(1) PTや委員会の新設改廃状況。円滑な組織運営。自己診断(学校運営)平均20P以上。</p> <p>(2) 防災訓練2回実施。生徒、教職員対象AED講習会の充実。自己診断H26 84%→90%</p> <p>(3) 香里会を年間5回以上実施。学校運営への参画意識の向上。自己診断H26 86%→90%</p> <p>(4) 指導要録、成績処理等のICT活用の定着。全教科でICTを活用した教材共有システムを開発し、その活用状況。成績処理のICT化等、業務軽減の状況。</p> <p>(5) 節水、節電等の状況。使用量を前年比3%減。</p> <p>(6) 文化広報部や「香里PR隊」による広報の状況。学校見学会等参加者、5%増(今年度6回1279人)イ月3回以上更新する。メール配信登録者、65%以上。年間配信数60件以上。年2回の中学校訪問の内容の充実と新たな訪問校の開拓。</p>	<p>(1) PTのスクラップアンドビルドを実施。(◎)円滑な組織運営 2.3%増(○)</p> <p>(2) 防災訓練2回、AED講習(イベント含む)教員2回、生徒1回実施(◎)</p> <p>(3) 香里会6回実施。内容も充実(◎)</p> <p>(4) 校務処理システムによる指導要録、成績処理(○)教材共有システム構築できず(△)</p> <p>(5) 使用量を前年比3%減(◎)</p> <p>(6) 学校説明会参加者4回合計1412名(10%増)(◎)HP更新部活動等13プログラムを開設し香里丘だよりとともに更新回数は増加(◎)メール配信登録64.6%(○)現時点配信数91件(◎)例年と同様(○)</p>
--------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------